

電気自動車等を活用した北海道の省エネ・新エネ普及啓発活動への協力

事業目的

- 電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド車（PHEV）が「動く蓄電池」としての機能を果たし、災害時はもとより、電力需給逼迫時のピークカットやピークシフト、イベント利用など、あらゆる用途での利用が可能であることから、三菱自動車工業株式会社と北海道は連携して、新エネルギーの開発・導入に係る普及啓発に取り組む。

事業内容

- 道の広報イベントなどに合わせた新エネ・省エネの普及啓発協力
電気自動車等から電力を供給することにより、電力のピークカットやピークシフト、災害時における利用コンセプトの掲示等を通じて省エネ・新エネの普及啓発を行う。
- 新エネルギー等の普及に向けた出前説明の実施
「動く蓄電池」としての利用はもとより、太陽光発電や風力発電等のクリーンエネルギーを利用して電気自動車等に充電し利用する「エネルギーの地産地消」など、低炭素社会の構築に資する新エネルギーの効率的な利用について、広く普及啓発を行う。
- 実際の自治体での活用促進
道内各地における電気自動車等を活用したプロジェクトの立ち上げに協力し、活用促進を推進する。特に防災等での活用、太陽光発電や風力発電等のクリーンエネルギーを活用しての運用を目指し、ビジネスモデル構築に向けた活動を行う。

■事業実施例：EV・PHEVを活用した給電デモンストレーション

アウトランダーPHEV



〈バッテリー容量〉12kWh

「動く蓄電池」として
家電製品等に電力を供給



○イベント会場では
扇風機の稼働デモ、オープントスターを使ったプラ板アクセサリの製作体験、携帯電話の充電サービス等を実施。

また、家電製品以外の例として、わたあめの手作り体験やポップコーン機の運転等も実施。

i-MiEV(アイ・ミーブ)



〈バッテリー容量〉
16/10.5kWh(2種)

接続

MiEV power BOX
(ミーブパワーボックス)



〈最大出力〉1,500W

供給



実施体制

三菱自動車工業株式会社と北海道の
タイアップ事業

